

浦賀から久里浜へ海沿いを歩く

日時:2016年7月26日(火) 22000歩 約14km

集合:京急大津駅 10時

コース:大津駅→信楽寺→馬堀海岸団地→走水水源地→東叶神社→浦賀の渡船場→西叶神社→愛宕山公園→浦賀奉行所跡→燈明崎→開国橋→ペリー記念公園→バスで久里浜駅

参加者:神谷(L) 勅使河原(SL)

平石一 小野里 小林 森川 井内 山川 桑原 武倉 木村 山田 小島重/一般:野口(TWC) 計14名

集合場所の京急大津駅と新大津駅を勘違いした人がいましたが、初めてでは間違いやすい駅名ですね。本日の参加者は14名と歴史を辿るウォークには丁度良い人数でした。天気予報では曇りのち雨となっていました。終盤になって一時パラパラときただけで、そう濡れることもなく久里浜に“上陸”することが出来ました。コースは馬堀海岸団地を抜け、16号線の海岸通りに出て走水水源地の湧水を味見し、そこからは“山沿い”の登坂路となる「やや健脚」並みのルートで、ほぼ平坦と思って参加した人もいたようですが、KWCはそんなに甘くはなかった！浦賀奉行所跡辺りには、何となくそれらしい雰囲気を感じられ、黒船来航時の人々の驚きを伺い知ることが出来ました。燈明崎では海を目の前に暫し休憩しましたが、ここまでの疲れが一気に出たのか立ち上がるのもおっくうで、もう少し休んでいたい気分でした。時折陽がさして蒸し暑さもありましたが、所々で涼しい風が吹き抜け、この時期としてはまずまずのウォーク日和だったとおもいます。

<フォトレポート 小島>



<燈明崎の岩場で海を眺めながらの集合写真。ただアングルの関係で主役の燈明台が木に隠れました！>



朝の京急大津駅。以前と変わらない小さな駅です。



10時に出発、ストレッチ場所へ。



駅から1分の公園で勅使河原さんのストレッチ。



神谷しより本日のコース説明。少人数で楽？



第一ポイントの信楽寺(しんぎょうじ)です。



大津はおりようさんの街。



坂本龍馬の妻、りようの墓。



おりようさんてどんな人？



説明板を良く読めば分かりますよ。



霊が怖い？何故か速足のSL。



閑静な住宅街ですが、ここは何処？



横須賀風物百選の馬堀海岸団地です。



住宅街を抜けた公園で小休止。陽が出てきました。



ジャングルジム。それシニアの遊具じゃないですよ！



海岸に出ました。ここは南国風な16号線です。



現在は護岸が整備されて遊歩道になっています。



馬堀海岸からは猿島と遙かランドマークも。



暫し東京湾を眺め、ここから走水へ。

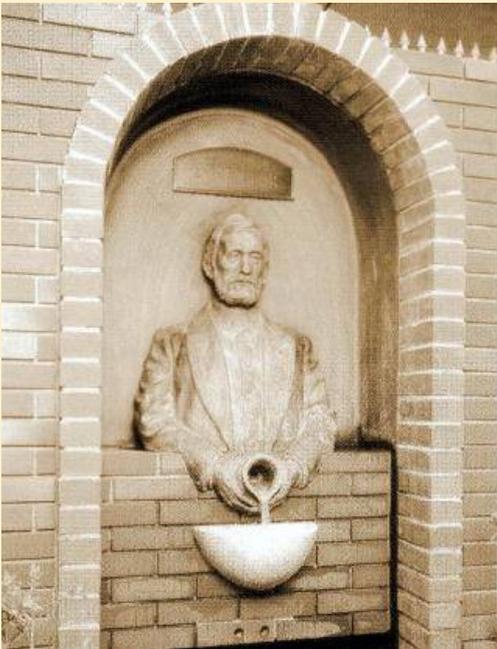


走水水源地に到着。湧水を汲みに来た人の行列も。



KWCを代表しお毒味？ 問題なさそうです！

「ヴェルニーの水」：横須賀造船所や観音崎灯台を建設したフランス人F. L.ヴェルニーが、走水の豊富で良質な湧き水に注目、1876年(明治9年)横須賀造船所の用水として送水したのが始まりで、ヴェルニーの水と呼ばれている。以前は16号沿いにヴェルニーの胸像が手にした壺から流れ出る湧水を汲めたが、路上駐車で渋滞を招き危険な為1999年に給水を停止した。



かつて国道沿いにあった胸像。



水源地は桜の時期には解放されて花見客で賑わいます。(Webより)



これは水源地のレンガ造り貯水池。



恐怖の時間？ 16号の旧道トンネル内を歩きました。



馬頭観音の浄林寺。



こんな石碑がありました。馬堀の由来の名馬が。



坂道から見た猿島と野島方面。かなり上りました。



上ったら下りる。浦賀の海が見えてきました。



東浦賀公園でランチ。こちら女の園？昼のファッションショー付！



こちらは男の園？地味～～



見上げるとそこにはシラサギの園が・・・



海沿いの道に出て来ました。



東叶神社に到着です。



境内には勝海舟水垢の井戸があります。



長い階段を上るとそこは眺めの良い浦賀城址。



写真中央に見える岬が、これから行く燈明崎です。



浦賀の町の一角に井戸がありました。



手動ポンプで水が出ます。いまだ現役？



浦賀を代表する旅館だった徳田屋跡。あの吉田松陰と佐久間象山がここで会っています。





浦賀の渡船場。向こう岸までのミニクルーズ！



平成10年就航の愛宕丸。渡船料は200円でした。



お先に～。この渡船、水上区間ですがこれも県道です！



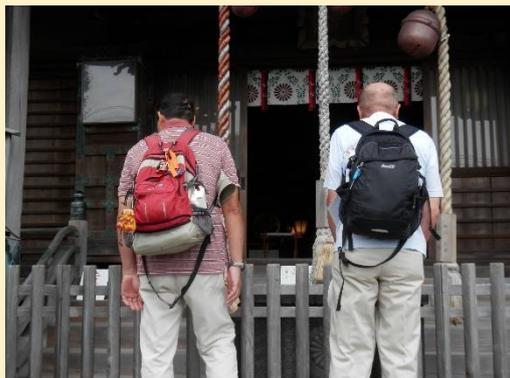
船は出て行く～取り残された6人+1人。



船を降りて西浦賀へ。



ここが西叶神社です。これで東西制覇！



代表してしがお参り？



さすが浦賀、こんな名前の歯科が！



愛宕山公園に向かいます。



この公園は浦賀園と呼ばれていた。



またも急坂。今日は何度目？



上ると咸臨丸出港の碑があり、裏には乗船者名簿も。



中島三郎助の解説板が建っていました。



何故か与謝野晶子の文学碑もありますが・・・



何と彫ってあるのやら。



公園を下った場所に竜馬像建立予定地が！え～



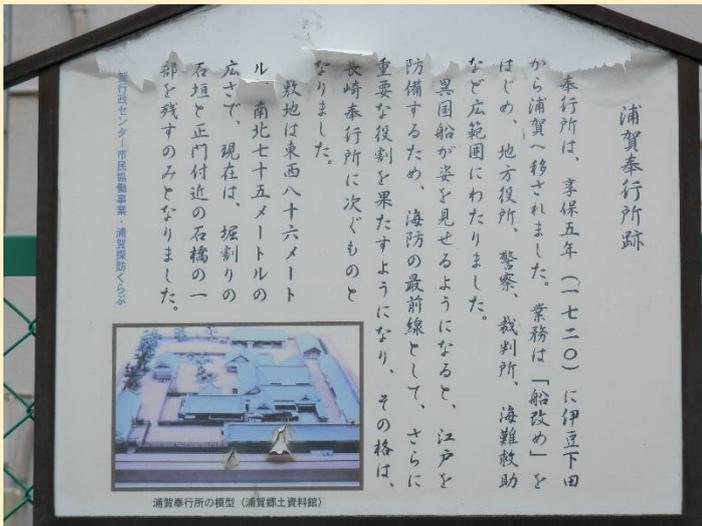
浦賀らしい光景？ギアを間違えば落下でしょう！



こんな道あったの？地元民しか知らないでしょうね。



下ると長屋街（？）が・・・時間が止まったようで。



浦賀奉行所跡。周辺はそれらしい雰囲気があります。



当時の奉行所正門付近にあった石橋の一部です。



燈明崎に到着。海岸で海を眺めながら暫しマッタリ気分！神谷しもほっと一息。



燈明堂。当時の形を再現したもの。

ここは海水浴場？ 夏休みとはいえ平日なので。

※燈明堂:浦賀港の入り口にあたる燈明崎の先端に、江戸時代に築造された和式燈台。燈明堂は堂内で油を燃やすことによって明かりを得ており、夜間には灯台守が常駐していた。この明かりは対岸の房総半島からも確認できたと云われる。



謎のトンネルに入ります。大丈夫？

開国橋に到着。ゴールは目の前です。



ペリー記念公園。上陸記念碑の前でお決まりの集合写真です。



バスの時間まで希望者は記念館に。



各自でクールダウン。雨が落ちてきました。

■今日は駅からの海岸沿いは平坦でしたが、走水から山越えの道では上り坂の連続で結構足にきました。このコースには普段見られない場所と景色があって、皆さんも十分楽しめたのではないのでしょうか。特に私には初めて乗った浦賀の渡船、情緒があって印象に残りました。全員の顔が見えるこじんまりしたウォークも偶には良いものですね。

END